

平成24年度 杉森中学校 第1回学校運営協議会 会議録

日時 平成 24 年度 4 月 25 日(水)17 時 00 分～19 時 30 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者 《協議会委員》 石田 壽文
高崎 彰
大川 洋
伴野 博美
岡田 円治
松本 美智子



大橋 亮介(校長)

《杉森中学校事務局》 田邊 克宣(副校長)
シェティーベリング 育子(教務主任)
松尾 宏(生活指導主任)
金子 敏治(進路指導主任)
長谷川 祐子(嘱託事務)



会 長 本年度第一回目の会議です。本年度も会長をつとめさせていただきます。よろしく願いいたします。

24年度4月9日の入学式に参列いたしました。大変感動的な入学式でしたね。

1学級増えて4学級になりました。

今日は午後から杉一で研修会だった先生方、ご多忙の中お集まりいただきありがとうございます。区のほうから「生きる力をはくぐむ」から、「生き方を学ぶ」という大きな目標もできました。学校は新体制になり、本年度は本格的に大橋校長先生の新体制ということになります。よろしく願いいたします。

司 会 では、新年度ですので自己紹介からお願いします。

石田会長 昭和28年に教員になりました。杉森中学校の教員でした。技術家庭科で、予算をとって道具からそろえて…ということから始めました。平成17年に評議委員に。そこから第一回の委員に大川先生、伴野さんとCSを引き受けることになりました。

高崎委員 石田先生の教え子です。中学校では社会科を教えていました。杉並区では松ノ木中学校に10年間いました。阿佐ヶ谷幼稚園が実家です。今は大学の講師をしています。杉森中学校に少しでも恩返しができれば良いと思っています。

大川委員 東京理科大・早稲田大学・東洋英和で教育学を教えています。教育思想・教育哲学などを教えています。姪と甥が杉森中でお世話になっています。

伴野委員 4期の継続になります。平成14年に「ようこそ先輩」のコーディネーターもしていました。地域活動で石田さんの奥様と知り合い、主人の恩師が石田会長・岡田さんや安藤さんが同級生だという事を知りました。杉森では縦横の連携が取れていて、とても良いCSだと思います。地域性を生かしたCSは杉森中の誇りですね。

松本委員 平成15年から図書館サポーターを8年間やってきました。平成19年から評議委員をしていて、6年目になります。地域で何かしたいなと思っていました。みんなが活性化するような企画や提案ができればいいな、と思っています。

岡田委員 杉森中の卒業生です。NHKで番組編成の仕事をしていました。今はNHKアートという会社で仕事をしています。CS委員は3年目です。よろしく願いします。



- 大橋校長 2年目になりました。去年はわからないうちに時間が過ぎて行きました。今年は私なりの考えを出して生きたいと思います。
- 田邊副校長 副校長として2年目。教員としても在籍していましたので、杉森中は足掛け8年お世話になっています。地域・保護者・教員、そして学校運営協議会の四輪でやってきましたが、良いところが受け継がれているように思います。色々ご相談しながらやっていきたいと思っています。
- 校 長 教務主任は今年度からシュティー先生になります。ドイツに10年いらして、新採3年目ですが、以前教務をやっておられたということで、お願いしました。
- シュティー
(教務主任) シュティーベリングです。(校内ではシュティー先生)
杉森中は地域・学校・保護者ともに大変に落ち着いていると思います。地域性がうまくでていて、子供たちに根付いていますね。
- 松 尾 生活指導主任2年目になります。委員のみなさんとのつながりもできて、私も生徒たちも委員の皆さんにお会いする時には笑顔になります。今年度も一年間よろしくお願いいたします。
- 金子 進路指導主任といいながら、いままでは1・2年の担任だったので、進学指導とともに、総合で何かできないかということでキャリア教育など色々取り組んできました。よろしくお願いいたします。
- 長谷川 3年目になります。この会議に出席すると、杉並区の事や教育のことなど、色々な情報がわかります。よろしくお願いいたします。
- (嘱託事務)



校 長

今年度は1年生は4クラス。128名、男子80名・女子48名でスタートしました。全校では10クラス348名です。

次に教育目標・経営方針についてお話いたします。お配りしましたプリントをごらんください。

基本方針・中期的な目標・短期的な目標という3部構成になっています。

教育目標についてご説明させていただきます。

杉森中は自学・実践・友愛を教育目標としています。今年度の重点目標としまして、心の教育を充実し他者への思いやりの心を育み、自らが考えを判断し未来を拓く人間として実践力を高め、自治の力を育むということです。

特色ある教育活動として、昨年もお世話になった「イングリッシュサマーキャンプ」。「朝読書」では発表を見据えた「言葉の教育」というものも進めていこうと考えています。

食育の推進・英語と理科の少人数指導。支援本部との連携で補習教室の充実も図っていききたいと思います。

生活指導ではいじめ・仲間はずれをなくす。もしあった場合は指導、支援、細かな配慮を行っていきます。

支援本部との連携を密にする。

震災のこともあり、防災訓練をしっかりとやっていききたいと思います。

体験学習・キャリア教育の推進もより充実させていききたいと思いますので、CSのみなさんのご協力もよろしくお願いいたします。

支援本部のメンバーも変わりましたが、PTAと共に連携をとっていきます。

小中の研修会は1～2学期で3回実施します。

学校保健委員会は、校医・保護者も交えて年1回開催するので、今年はきちんとやりたいと思っています。

連絡事項としまして、区教委より小笠原体験募集がきています。5泊6日、区が費用を出してくれます。各校一名ずつですが、今4名が応募しています。

学校選択性について、今後見直しがあります。28年度の新入生から新たな制度になります。



司 会
A委員

学校経営計画について何かありますか。

この学校は非常に落ち着いています、今起きている様々な事件にでてくる少年…そういう少年がでてこないようにするにはどうしたらよいか。考えていかななくてはいけませんね。

校 長

今年の支援本部の組織がだいぶ変わりました。本部長に三村さん、副本部長を大熊さんにやっていただくことになりました。コーディネーターは一野さん、大西さん、大熊さんをお願いしました。今年度から研修に参加してコーディネーターとなります。

司 会
校 長

教員の方は、新規採用の方が入られたそうですね。

初任者は理科の三宅先生だけです。非常勤教員の大浦先生が、研修等の対応・指導教諭として入っていただいています。理科は少人数授業なので、梅津先生、後藤先生も加えてきめ細やかになっています。初任者は週に一回の研修があります。

社会科の非常勤教員の大久保先生は引き続き、北沢先生の指導教員です。

副校長

教員の転出が2名ありました。教育実習生が5月21日から来ます。教科は保体と理科。2名です。本年度 ESC ですが、一般の申し込みになり、5月上旬に抽選があり宿泊場所が決まります。

小中一貫は昨年交流があり、24年度もスタートしました。今日は杉一の授業を見てきました。教員間では新泉小・和泉小・和泉中で交流して、5年かかりました。一番ネックは小中の文化の違いですね。お互いにかみ合わないものもあり、最終的には調整できるものもありましたが、ようやくお互いに話ができるようになりました。

今年はより具体的な取り組みをしていきたいと思います。

進路指導主任

杉一小での研究会ですが、若い先生が多く、一つのものを作り上げているという感じがしました。地域の方を招いて行事を行ったり、そのために各教室の掲示物も工夫されていました。子どもたちを丁寧に教えているのではないのでしょうか。

B委員

杉一小は137周年のお誕生日でした。ようこそ先輩ということで、同窓生の獣医の方にお話をさせていただきました。50年前に獣医を夢見て、実現した話などしていただきました。

旧校歌と新校歌を歌いました。「愛校心」というテーマを子どもに明確に感じさせられたと思います。

教務主任

1年生が4クラスになりました。そのためにかつての英語科室が2階に上がり、そこが1年D組になりました。

時程では、授業時間が増えました。月曜日は6時間になり、水曜日は通常5時間になりますが、6時間になる日もあります。

年間行事予定表をご覧ください。夏休みが短くなりました。8月28日始まりになります。杉森祭の振り替え休日はありません。新指導要領の導入のために授業のコマ数が増えました。今年度から国語・社会・数学のコマ数は増えました。体育では武道が入ります。杉森では相撲と剣道です。

枠が増えたからといって詰め込み教育になったわけではありません。言語活動の充実ということで、どの授業でも自分の考えを発表したり自分の考察を伝えられるということに重点をおいていきます。理科の実験などはゆっくり時間をかけるようになりました。

生活指導主任

保護者会の時に生活指導でお話ししたのですが、震災時、区および杉森中学校の基本的な対応についてのプリントを配布いたしました。ホームページで情報伝達をするようにしてありますが、ホームページを見る環境にない場合もあるので、生徒の個人票のところに環境について確認の欄を設けました。

昨年はケガが多かったので、今年は休業中や学校内での過ごし方など、基本から指導していきたいとおもっています。

危険の予知についても話をしていきたい。落ち着いているだけではなく、生徒の自己肯定感なども、大切にして自分を好きになってほしい。自信をもってもらいたい。

朝礼のときに号令なしでも動けるようになってほしいと思っています。自分たちでできることを伝統にしていってほしいと考えています。

進路指導主任

前回お話しした、「職業レディネステスト」をお持ちしました。昨年の2年生が3学期の最後にハローワークでやってもらったテストになりますのでご覧ください。

総合と行事的の部分では6月22日に伝統芸能鑑賞教室があります。今年度は落語ということで体育室で鑑賞します。中学校をまわって講演していらっしゃる落語家さんです。

3年生は上級学校訪問で、高校をみんなで手分けしてまわり情報を集めようということで、都立・私立・エンカレッジスクール・専門学校など様々な学校を訪問しました。春休みに集めた情報をもとに3年生の教室の前に貼ってあります。それをもとに今後進路説明会等を行っていき、進路について話し合っていきたいと思っています。

C委員
校 長
司 会
2学期を早く始めるのは、区内でも同じ動きなんですか？
杉森中は最後のほうです。これで区内全部の中学校が同じようになりました。
中野区などは2期制ですね。授業時数の確保のためにはいろいろと工夫しなければいけませんね。

E委員
校 長
今、月曜日の朝礼で「いのちの話」をしているのですが、それを学級に持ち帰ってもらい、各学級の道德の時間に話し合ってもらっています。そういう意味では月曜の一時間目に道德をもってくるのが効果的ではないかと考えています。

司 会
校 長
B委員
運営協議会について何かご意見はありますか。
ESC・国際理解教育・土曜日学習は学校支援本部にお願いしています。
コーディネーターというものができたのなら、職業体験なども応援をやっていただけるなら、コーディネーターにお願いしたほうがいいのではないのでしょうか。

校 長
司 会
今年学校支援本部を活発にしていきたいと思います。
では、今年の運営協議会の活動内容として道德教育・キャリア教育をテーマとして話し合っていくということよろしいでしょうか。
教員との連携、話し合いを大事にしたいと思っています。PTA との話し合いの機会も持ちたいですね。